

■会計別内訳

一般会計	201 億 6,000 万円
特別会計等	99 億 9,148 万円
住宅資金貸付事業	520 万円
国民健康保険	34 億 470 万円
簡易水道事業	3,020 万円
と畜場	310 万円
宅地開発事業	5,000 万円
休日診療所	1,120 万円
下水道事業	13 億 2,930 万円
介護保険	34 億 2,570 万円
後期高齢者医療	4 億 1,620 万円
財産区	1,010 万円
(企)水道事業	13 億 102 万円
(企)工業用水道事業	476 万円
合計	301 億 5,148 万円

特別会計と企業会計

特別会計は、一般会計とは切り離し、独立した予算で行う会計で、市では10の特別会計を設けています。一方、企業会計は、地方公営企業法

に伴い返済額は年々減少していますが、平成23年度は一括して返済する借金(1億円)があるため、前年度とほぼ同額となっています。公共投資(普通建設事業)は、認定子ども園(3園)や南但ごみ処理施設の整備、街なみ環境整備(生野・竹田)道路整備など大規模な事業を予定しており、前年度に比べ8億2,824万円(73.1%)の大幅な増加となっています。扶助費は子ども手当が拡充される予定であること、保育料の軽減に伴い園児数が増加し、保育所・子ども園の運営経費が増えたことなどから前年度と比べ3億6,205万円(19.2%)の大幅な増加となっています。

基金と市債(一般会計)

市の基金(貯金)には、予期しない収入不足や災害など緊急的な支払いに対応する財政調整基金、市債(借金)の返済を計画的に進めるための減債基金、まちづくりや福祉など特定の目的のための基金があります。平成23年度は、大規模な事業を予定し、市税や地方交付税が減少する見込みのため、不足する財源に基金を取り崩し対応するため、基金残高は減少する見込みです。一方、市債残高は、平成23年度中の借入金より元金の返済額の方が多いため、減少する見込みとなっています。

市民一人当たりでは…

■市債現在高の状況

平成 22 年度末残高見込額	313 億 2,263 万円
平成 23 年度市債発行予定額	27 億 6,910 万円
平成 23 年度元金償還見込額	32 億 5,288 万円
平成 23 年度末残高見込額	308 億 3,885 万円
市民一人当たり	91 万 3,717 円

※一般会計

■基金の状況

財政調整基金	47 億 131 万円
減債基金	1 億 2,949 万円
その他特定目的基金	44 億 6,642 万円
合計	92 億 9,722 万円
市民一人当たり	27 万 5,465 円

※一般会計・平成 23 年度末見込み

使われる予定のお金 597,316 円

- 福祉の充実 152,449 円
- 借金返済 110,580 円
- 行政の運営 85,979 円
- 医療・ごみ処理 69,079 円
- 教育文化スポーツ 48,263 円
- 道路の整備 56,360 円
- その他 74,606 円

納めていただく市税 129,535 円

- 固定資産税 84,797 円
- 市民税 37,581 円
- 市たばこ税 4,741 円
- 軽自動車税 2,224 円
- 入湯税 192 円

※平成 23 年 1 月末現在の人口 33,751 人